

老齢給付裁定請求書【記入例】

年金として受給

企業年金基金 老齢給付金裁定請求書

金属事業企業年金基金 御中 令和〇年△月×日提出

フリガナ ①氏名	タナカ タロウ 田中 太郎		②性別 男	③生年月日 大正 昭和 32年7月3日 平成
④郵便番号	フリガナ	⑤住所		
123-4567	タナカ タロウ	東京都千代田区岩本町1-11-11 金属ハイム301 電話 03-1234-5678		
⑥加入者番号	7890	⑦入社年月日	⑧資格喪失年月日	
		昭和 平成 令和 60年4月1日 入社	平成 令和 2年10月1日 (<input checked="" type="checkbox"/> :在職中)	
⑨希望する送金先	①銀行等の口座振込(本人名義の口座をご指定ください。)			
	三井住友信託 銀行 本店 口座名義 田中 太郎 普通・当座 預金 口座番号 No. 1234567			
⑩年金に代えて支給する一時金希望の有無	⑪業所(会社)等から退職手当の支給を受けましたか。		⑫年金支給繰下げ希望の有無	
1. 全額年金として受取る 2. 全額一時金として受取る	1. 受けた。 2. 受けていない。		1. 繰下げを希望する (2. 繰下げを希望しない) 希望する受け取り開始年齢 (歳) ※65歳未満で資格喪失した方は65歳まで、65歳で資格喪失した方は70歳まで支給開始を繰り下げることができます。	
⑬最後に勤務していた(引続き勤務している)事業所(会社)名	(名称) 株式会社△△△△金属 (所在地) 千代田区丸の内1-1-1		⑭年金の支給期間について(⑩で「1.全額年金として受け取る」を選択された方のみご記入ください。)	
			希望する支給期間を○で囲んでください。 5年 10年 15年 20年	

・自己都合等で資格喪失された方は、退職日の翌日
・60歳もしくは65歳到達で資格喪失された方は、お誕生日の前日をご記入ください。

ご請求時に、お勤めであった事業所(会社)や中退共、信託銀行、生命保険会社等から退職金をお受け取りの際は、「受けた」に○を付けてください。

1. 繰り下げを希望するをご選択の方のみ、希望する受け取り開始年齢をご記入ください。

各支給期間による給付額については、請求書同封の「支給開始年齢別給付額明細表」をご確認ください。

- 〔添付書類〕
- 生年月日に関する市区町村長の証明書又は戸籍抄本、その他生年月日を証する書類
 - 年金での受取り希望の方は、さらに次の書類も添付してください。
 - 個人番号届
 - 本人確認書類 (本人確認書類の詳細については、個人番号届をご確認ください)
 - 一時金での受取り希望の方は、さらに次の書類も添付してください。
 - <退職所得に該当する場合>
 - 退職所得の受給に関する申告書
 - 本人確認書類(本人確認書類の詳細については、退職所得の受給に関する申告書をご確認ください。)
 - 退職所得の源泉徴収票の写し(会社等から退職手当の支給を受けているとき)
 - <一時所得に該当する場合>
 - 個人番号届
 - 本人確認書類(本人確認書類の詳細については、個人番号届をご確認ください)
 - その他、基金からの指示のあった書類

書き方等について分からないことがありましたら、基金までおたずねください。

基金欄

--	--	--	--	--

受付日付印